

品番：NK51115/NK51116/NK51117/NK51118

施工説明書

取扱説明書



・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

J000040

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

- 施工は施工説明書にしたがい確実に行う。
火災や感電、落下の原因となります。
- 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取付けない。
火災や感電の原因となります。
- 本器の分解や改造および修理はしない。
火災や感電の原因となります。
- 必ず適合する LED 器具（別売）と組み合わせる。
火災や感電の原因となります。
- 必ず適合負荷を最大接続台数以下で使用する。
火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧 $\pm 6\%$ ）・周波数以外の電源で使用しない。
火災や感電の原因となります。
- 水平天井埋め込み専用です。壁取付や天井直付け及び傾斜天井には取り付けない。
落下の原因となります。
- 取付け強度不足の取付部（壁面や天井等）には取り付けない。
落下の原因となります。
- 送信電波が影響を与える可能性がありますので、安全管理のため、WiLIA/PWM 信号変換インターフェースはペースメーカー、植込み型除細動器、医療電気機器等から 22cm 以上離してご使用ください。
- お手入れの際は必ず電源を切って、しばらくしてから行う。
感電・やけどの原因となります。
- 接続された照明器具を交換する際は必ず本器電源を切ってください。
感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が生じた場合はすぐに電源を切ってください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。ただちに、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

⚠ 注意

- ロックウールなどの柔らかい天井に取り付けしないでください。
天井材の破損や器具ズレの原因となります。
- 本器の取り付け・取り外しは、手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認し、対策を講じてください。
- 無線920MHz帯で通信する電子タグ機器、スマートメーター等の機器がある設置環境では、電波ノイズにより動作に影響を受けたり、影響を与える場合があります。
- 光出力比（%）と目で感じる明るさ感には相違がある場合があります。
- 電源線に大きなノイズが重量されている環境では、チラツキ等が発生する可能性があります。
- シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
- 本器には寿命があります。設置して 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
必ず点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 24 時間通電、年間 8760 時間通電です。
 - ・周囲温度が高い場合は寿命が短くなります。
 - ・3 年に 1 回は工事店などの専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使用し続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。

仕様

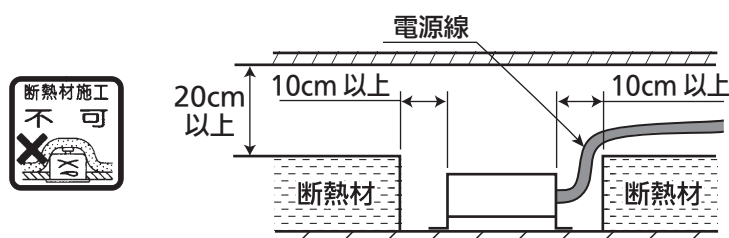
定格電圧	AC100～242V 50/60Hz	適合負荷	当社製信号線式連続調光型LED照明器具 最大50台まで（起動方式は下記参照） 総配線長100m
使用温度範囲	5～35℃（結露なきこと）		
入力電流	80mA以下		
適合コントローラ	NK51113 （LS/無線信号変換インターフェース）	入力電力	5W以下
		通信距離	見通し35m

適合起動方式

品番	起動方式
NK51115	LJ, LZ
NK51116	LR, LA, LT
NK51117	LI
NK51118	LD

施工上のご注意

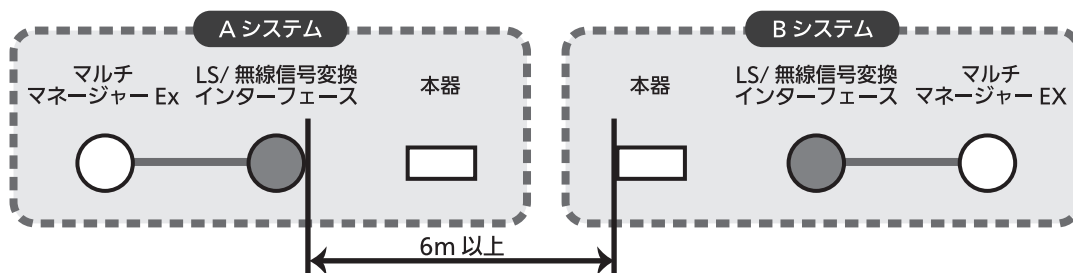
- 保守・メンテナンス時に個別に電源を遮断できるように、本器とLS/無線信号変換インターフェースの電源系統を必ず分けてください。
- 断熱材・防音材・造営材などと下図のような空間を設けて施工してください。電源線は断熱材の上を通してください。



- 電線には張力がかからないように施設してください。
- 電源線は低圧屋内配線工事、調光線は弱電流配線工事が必要です。
- 電源線と調光線は束ねないでください。
- 電線管をご使用の場合は、電源線と調光線を同じ管内に収納しないでください。

設置上のご注意

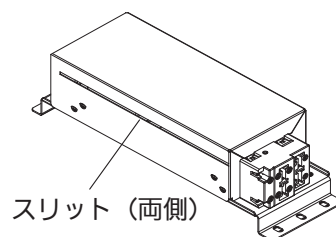
- 本器は、点検ができる点検口（点検口の近く）へ設置してください。
- 逆転、横転設置はできません。
- 制御盤など盤内には設置できません。
- 本器はなるべく壁、窓から離してご使用ください。近すぎると正しく動作しない場合があります。
- 複数のマルチマネージャーExシステムを近接してご使用される場合、影響を受け遅延が発生する場合があります。本器は、隣接するシステムのLS/無線信号変換インターフェースから6m以上離して設置してください。



- 本器のスリットは、器具本体、他の埋込型照明器具、金属製の造営材（梁、野縁など）、ダクト、ラインディフューザー、電気配線等に近接（10cm以内）させないでください。コントローラによる操作が効かない場合があります。
- 内装変更で遮蔽物が介在するなど通信環境が変化した場合、操作が効かなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 下記のような設置環境では、電波の通信距離が短くなります。
 - ・LS/無線信号変換インターフェースと本器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障害物がある。
 - ・LS/無線信号変換インターフェースと本器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
 - ・本器周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）

電波の通信距離が短くなった場合は、下記のような対策を検討してください。

- ・本器のペアリング先を別のLS/無線信号変換インターフェースに変更。
- ・本器の設置位置の変更。
- ・什器などの位置を変更。



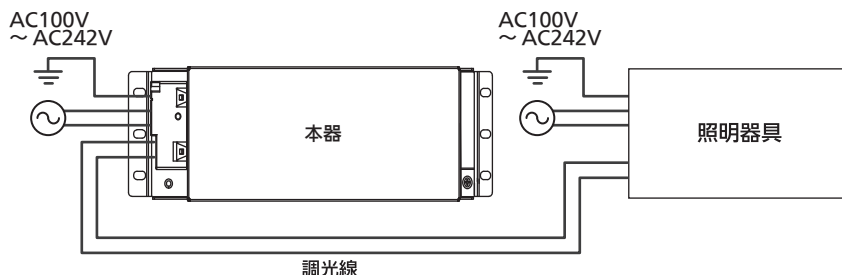
設置上のご注意（続き）

- 下記のような設置環境では、電波ノイズにより動作に影響を受ける場合があります。
 - ・ 本器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器を動かしている。
 - ・ 本器の近く（10m以内）でマイクロ波治療機器を使用している。
 - ・ テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または、近くに各種無線局がある。
 - ・ 無線920MHz帯で通信する機器がある。（電子タグ機器、スマートメーターなど）

電波ノイズの影響が生じた場合、無線通信のチャンネル変更により改善される場合があります。

チャンネル変更で改善されない場合は下記のような運用を検討してください。

- ・ スケジュール設定のシーン切替は、緩やかな変化（フェード10%以下/分）に設定する。
- ・ 始業時間、開店時間などのシーン切替は、5分程度余裕をもって設定する。
- ・ スイッチ操作で遅延が発生した場合は、再度押下する。



各部の名称と取り付け方

1. 取付前の状態を確認する。

- ・ LED電源ユニットの質量（0.5kg）に十分耐えるような取付部の強度を確保する。不備があると落下の原因となります。

2. 電源線を端子台の電源線差し込み穴に接続する。

- ・ 端子台のL・N端子に電源線を、アース端子にアース線を接続してください。

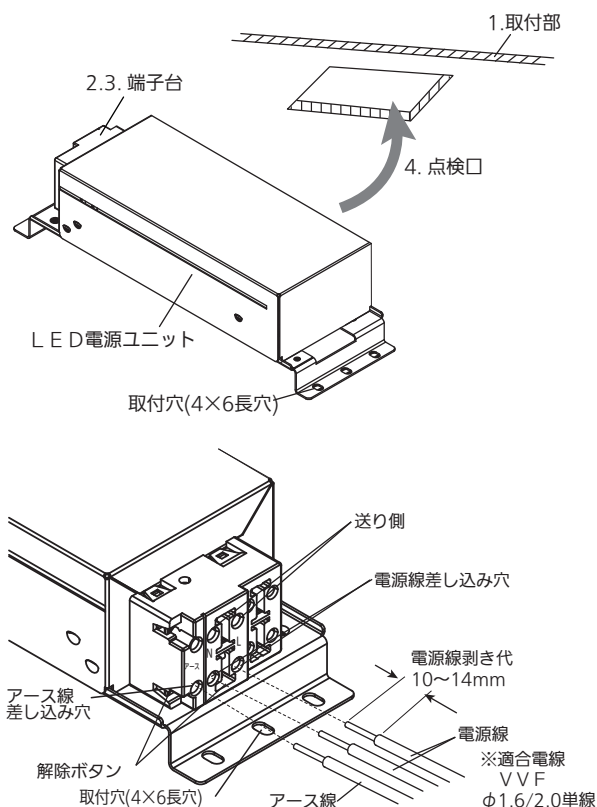
また、各線を交差させたりしないでください。

- ・ 電源線は差し込み穴に確実に差し込んでください。

※外装シースの剥き過ぎに注意してください。

露出電線と造営材の離隔距離が確保出来ない場合はテープの巻き等の適切な処理をしてください。

- ・ 挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
- ・ 端子台（電源側）の送り容量は20Aです。
- ・ 接地工事（D種接地工事）を確実に行ってください。接地に不備があると感電の原因となります。



3. 調光線を端子台の調光線差し込み穴に接続する。

- ・ 調光線は差し込み穴に確実に差し込んでください。

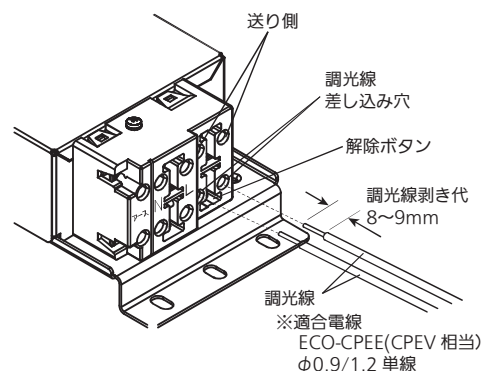
- ・ 調光線は電源線と束ねないでください。

誤作動の原因となります。

- ・ 挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
- ・ 端子台（調光側）の送り容量は150mA（50台）です。接続が不完全な場合、または容量がオーバーした場合、火災・感電の原因となります。

4. 天井内に設置する。

- ・ 本器にものを載せたり、覆ったりしないでください。火災・発火の原因となります。
- ・ 電源線の入線部分が上を向かないように取り付けてください。トラッキングによる火災・発火の原因となります。



システム動作に関するご注意

- 本器は無線通信で当社製信号線式連続調光型LED照明器具を調光制御します。
- 本器は、単独では使用できません。
必ず設定操作用タブレットEx、マルチマネージャーEx、LS/無線信号変換インターフェースと組合わせて使用してください。
- ご使用前に設定操作用タブレットExでLS/無線信号変換インターフェースと本器のペアリング設定が必要です。
- マルチマネージャーExシステムにて、約5%～100%の調光及び消灯が可能です。
- システム上は、使用している照明器具の調光範囲外でもタブレット設定できますが、照明器具自体の使用範囲でしか動作しません。指定の範囲でご使用ください。

設定操作用 タブレット 調光表示	各起動方式の器具の明るさ [%]						
	NK51115		NK51116			NK51117	NK51118
	LJ	LZ	LR	LA	LT	LI	LD
100%	100	100	100	100	100	100	100
90%	90	92	90	92	92	90	89
80%	79	84	80	81	81	79	79
70%	68	72	70	70	70	69	68
60%	58	61	60	60	60	59	58
50%	47	52	49	49	49	48	47
40%	37	42	39	38	38	38	37
30%	26	33	29	28	28	28	26
20%	16	20	19	17	約25	17	15
10%	5	10	9	約10	約25	7	5
5% (最下限)	約1	約5	約5	約10	約25	約3	約0.1
0%	0	0	0	0	0	0	0

- 使用方法や設定方法は、マルチマネージャーExの取扱説明書をご参照ください。
- 下記のような現象が発生する場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ 低い調光域では、段調光のように動作する場合があります。
 - ・ 調光した状態でコントローラの点滅スイッチをすばやく操作した場合、100%点灯してから、設定の調光状態になる場合があります。
- コントローラの電源が切断されたり、無線の混信により、本器とコントローラ間の無線通信が遮断された場合でも、照明器具は通信遮断前の状態を保持します。ただし、照明器具が調光消灯状態で通信が遮断した場合、設定操作用タブレットで5分後に100%点灯します。（フェールセーフ機能）
通信が遮断した場合でも調光状態を維持したい場合は、フェールセーフ設定をOFFにしてください。
- 停電（瞬時停電を含む）からの復電後は、一時的に起動時の調光値（工場出荷時100%、設定により調光率変更可能）で点灯することがありますが、コントローラからの無線通信受信後（約1分後）に本来のスケジュール運転を再開します。
- 本器具は任意のシステムと一度ペアリング設定すると、その他のシステムからの設定操作はできません。
他のシステムでの設定をする場合は、ペアリングされているシステムで事前にペアリング解除設定していただく必要があります。
- 本器で制御する照明器具は、ハンディライコンでの操作はできません。
- NQL10131を使用する場合はNK51115と組み合わせて最大2台まで接続することができます。
（動作は調光率が0%でOFF、それ以外でONで動作します。）

取扱説明

お客様へ、この説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、この説明書を大切に保管し、必要なときにお読みください。

無線に関するご注意

- 本器は認証済みの920MHz帯特定小電力無線設備を搭載しています。
- 920MHz帯特定小電力無線設備は、分解・改造すること、また認証ラベルを剥がしたり、ラベルのないものを使用することは法律で禁じられています。
- 920MHz帯特定小電力無線設備は、海外の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。

保証について

- 保証期間について
この商品の保証期間は1年間です。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品について
弊社はこのインターフェースの補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しております。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 パナソニック照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター 0120-878-709（フリーダイヤル）0120-872-460（FAX）
NK51115-T © Panasonic Corporation 2020 I0620-0